2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月４日

上 場 会 社 名	株式会社インテージホールディングス		上場取引所		東
コ ー ド 番 号	4326		URL	https://www.intageholdings.co.jp/	
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	仁司　与志矢		
問合せ先責任者	(役職名) 取締役	(氏名)	竹内　透	(TEL) 03-5294-7411	
配当支払開始予定日	―				

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	15,202	5.9	678	18.5	690	22.1	384	31.4
2026年６月期第１四半期	14,361	△4.6	572	205.6	565	429.2	292	△74.2

(注) 包括利益　2027年６月期第１四半期　426百万円(　26.4%)　2026年６月期第１四半期 337百万円(　△72.5%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2027年６月期第１四半期	10.06	―
2026年６月期第１四半期	7.65	―

（注）１株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	45,892	33,589	72.8
2026年６月期	47,968	34,197	70.9

(参考) 自己資本　2027年６月期第１四半期　33,405百万円　　2026年６月期　34,010百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年６月期	―	24.00	―	24.00	48.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		25.00	―	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	33,000	4.1	2,500	5.8	2,550	7.1	1,500	22.9	39.26
通期	71,000	5.8	6,200	7.8	6,250	8.6	4,000	134.9	104.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　－社（社名）－　、除外　－社　（社名）　－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	40,426,000株	2026年６月期	40,426,000株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	2,267,100株	2026年６月期	2,215,670株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	38,195,665株	2026年６月期１Ｑ	38,188,941株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間（2026年７月１日から2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって緩やかに回復しております。また、当社グループが事業を展開するアジア地域の景気は中国では今後も緩やかな減速が続くと見込まれますが、その他各国では回復や拡大の動きが見られます。

一方、中東情勢や自然災害、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がありました。

当社グループは、当連結会計年度（2027年６月期）を初年度とする第15次中期経営計画（５か年）を策定しました。本計画ではグループ基本方針を「Technology Based Insightを成長エンジンに、新たな価値創造へ ～ヒトとデータとテクノロジーで意思決定のインフラへ～」と定め、従来のマーケティング支援の持続的な成長に加え、テクノロジー、データを活用したお客様の意思決定支援での飛躍的な成長を積み上げることで企業価値を大きく向上させていくことを目指します。

初年度となる当連結会計年度におきましては「Fusion ＆ Restructure ～融合と再編による未来価値の再構築～」を経営方針とし、2027年７月に予定しているグループ会社の再編へ向けた経営資源の最大化と最適化を推進してまいります。これに先立ち、当社グループでは2026年７月１日付で経営体制の一部変更を行い各事業領域に執行役員を配置して権限委譲を行うと共に、将来を見据えた成長領域を明示し全社一体となった価値創出を実現するため第１四半期連結会計期間より従来の顧客業界および提供サービスをベースとした「マーケティング支援（消費財・サービス）」、「マーケティング支援（ヘルスケア）」及び「ビジネスインテリジェンス」による３区分のセグメントから、事業モデルをベースとした「Insightセグメント」、「Data Techセグメント」の２区分へと報告セグメントを変更いたしました。さらに、両セグメントを繋ぎグループ全体の提供価値の最大化を目指すために、顧客の課題を起点とした統合的なソリューションをご提案する営業組織として「総合プロデュース部」を、生成AIのビジネス活用を加速させるために「AIビジネス推進部」を創設しております。

Insightセグメントにおいては、消費者・小売店・医薬品領域のパネル調査や、レセプト・処方情報などのリアルワールドデータサービスを中心とした「データプラットフォーム事業」、国内カスタムリサーチ、データ分析・解析やCXコンサルティングなどを中心とした「リサーチ＆コンサルティング事業」、海外に係るリサーチ（インバウンド・アウトバウンド）やグローバルでのサービス・ソリューション展開を行う「グローバルインサイト事業」を展開し、各事業において、堅実な売上成長と共に生成AIの活用によるプロセス変革を通じた更なる収益性の向上を目指しております。

また、長年培ったリサーチのノウハウの更なる「深化」、リサーチ領域におけるAI・テクノロジー活用を取り込んだ提供サービスの「進化」を積極的に推進し、事業成長を加速させていきます。

Data Techセグメントにおいては、コミュニケーション・販促・プロモーションを含むマーケティングの意思決定や実行支援を行う「マーケティングDX事業」、システム開発やデータ統合基盤開発・分析サービスを行う「ビジネスプロセスソリューション事業」の各事業において、積極的な売上成長を図ると共に将来的にグループの収益基盤として確立させることを目指しております。

また、お客様のデータを軸とした「データ基盤の構築支援」を推進すると共に、株式会社NTTドコモとの連携によるマーケティングソリューション領域、ビジネス支援領域などのデータ活用業務を一気通貫で対応できる「仕組み化」の支援、お客様の事業成果につながる「データ活用」の支援を積極的に推進し、事業成長を加速させていきます。

なお、財務面におきましては第15次中期経営計画期間中、ROE12.0％以上、DOE5.0％を下限とする累進配当を目標に掲げ、資本効率の最適化と安定的な株主還元に努めると共に、非財務面におきましてもCO2排出量削減などの環境課題への対応やガバナンス強化を推進してまいります。

この結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高15,202百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益678百万円（同18.5%増）、経常利益690百万円（同22.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は384百万円（同31.4%増）となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。なお、前述の通り当連結会計年度より報告セグメントを変更しており、経営成績の比較・分析は変更後の区分に基づいております。また、当期は全社的な費用として2027年７月に予定しているグループ再編後のビジネスモデル構築に備える為の新設組織人件費や、セキュリティ強化などのITインフラ費用を増加させており、セグメントの営業利益、特にInsightセグメントの営業利益に影響いたしました。

①Insightセグメント

Insightセグメントの連結業績は、売上高11,640百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益536百万円（同19.4%減）の増収減益となりました。

当セグメントでは、データプラットフォーム事業における消費財領域のパネル調査、リサーチ＆コンサルティング事業におけるヘルスケア領域のカスタムリサーチが堅調に推移したことにより両事業で増収となりました。

一方、利益面ではグローバルインサイト事業において消費財領域のグローバル調査が低調に推移したこと、前述の全社費用の影響により減益となりました。

②Data Techセグメント

Data Techセグメントの連結業績は、売上高3,561百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益142百万円（前年同期は営業損失92百万円）の増収増益となりました。

当セグメントでは、マーケティングDX事業におけるコミュニケーション領域のマーケティング支援が堅調に推移した事に加え、ビジネスプロセスソリューション事業においても業界向けソリューションやデータ統合基盤・活用ビジネスが好調に推移し増収となりました。

利益面においてもマーケティングDX事業の事業基盤の確立に伴う収益性改善に加え、ビジネスプロセスソリューション事業の増収効果により前年同期から大きく改善し増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,355百万円減少し、30,114百万円となりました。これは、仕掛品が888百万円増加したものの、現金及び預金が718百万円、預け金が2,654百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ279百万円増加し、15,777百万円となりました。これは、のれんが61百万円、投資その他の資産のその他が120百万円減少したものの、リース資産（純額）が131百万円、その他無形固定資産が269百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は2,076百万円減少し、45,892百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,338百万円減少し、11,341百万円となりました。これは、買掛金が216百万円、資産除去債務が258百万円、その他が292百万円増加したものの、未払法人税等が1,066百万円、賞与引当金が1,089百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ129百万円減少し、961百万円となりました。これは、リース債務が125百万円増加したものの、資産除去債務が253百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は1,468百万円減少し、12,302百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ608百万円減少し、33,589百万円となりました。これは、利益剰余金が540百万円減少し、自己株式が110百万円増加したことなどによるものです。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,557,541	10,839,258
売掛金及び契約資産	10,424,811	10,461,211
商品	12,585	11,946
仕掛品	2,011,541	2,899,886
貯蔵品	91,841	59,157
預け金	5,804,670	3,150,125
その他	2,573,433	2,698,571
貸倒引当金	△6,397	△6,083
流動資産合計	32,470,028	30,114,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	955,595	947,470
器具備品（純額）	399,746	387,769
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産（純額）	215,383	347,205
その他	21,766	466
有形固定資産合計	3,590,649	3,681,068
無形固定資産		
のれん	1,801,284	1,740,268
その他	2,937,593	3,206,639
無形固定資産合計	4,738,878	4,946,908
投資その他の資産		
投資有価証券	1,658,782	1,677,616
繰延税金資産	1,643,280	1,671,825
退職給付に係る資産	2,169,554	2,213,927
その他	1,996,762	1,876,208
貸倒引当金	△299,220	△289,606
投資その他の資産合計	7,169,158	7,149,972
固定資産合計	15,498,686	15,777,949
資産合計	47,968,715	45,892,025

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,412,844	2,629,516
リース債務	108,624	130,430
未払法人税等	1,545,653	478,711
賞与引当金	2,470,897	1,381,363
ポイント引当金	2,347,566	2,375,690
資産除去債務	－	258,589
その他	3,794,678	4,087,290
流動負債合計	12,680,266	11,341,591
固定負債		
リース債務	137,003	262,295
株式給付引当金	141,199	128,859
退職給付に係る負債	307,325	303,072
資産除去債務	400,907	146,925
その他	104,438	120,047
固定負債合計	1,090,875	961,200
負債合計	13,771,141	12,302,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,378,706	2,378,706
資本剰余金	1,796,274	1,796,274
利益剰余金	31,873,469	31,333,260
自己株式	△3,317,001	△3,427,925
株主資本合計	32,731,448	32,080,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,520	151,645
為替換算調整勘定	872,781	904,857
退職給付に係る調整累計額	274,214	268,236
その他の包括利益累計額合計	1,279,515	1,324,739
非支配株主持分	186,609	184,177
純資産合計	34,197,573	33,589,233
負債純資産合計	47,968,715	45,892,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	14,361,563	15,202,000
売上原価	8,764,334	9,355,859
売上総利益	5,597,228	5,846,141
販売費及び一般管理費	5,024,693	5,167,650
営業利益	572,535	678,491
営業外収益		
受取利息	11,283	24,984
受取配当金	－	32,500
持分法による投資利益	1,497	7,108
助成金収入	11,283	1,103
その他	13,079	12,749
営業外収益合計	37,143	78,445
営業外費用		
支払利息	1,440	4,154
投資事業組合運用損	23,076	11,326
為替差損	－	38,277
貸倒引当金繰入額	9,319	－
その他	10,705	12,874
営業外費用合計	44,541	66,632
経常利益	565,137	690,304
特別利益		
投資有価証券売却益	3,936	4,499
特別利益合計	3,936	4,499
特別損失		
投資有価証券評価損	－	2,975
特別損失合計	－	2,975
税金等調整前四半期純利益	569,073	691,828
法人税等	279,836	312,368
四半期純利益	289,237	379,459
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△3,041	△4,617
親会社株主に帰属する四半期純利益	292,278	384,077

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	289,237	379,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,797	19,125
為替換算調整勘定	△17,439	33,680
退職給付に係る調整額	11,707	△5,977
その他の包括利益合計	48,065	46,827
四半期包括利益	337,303	426,287
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,970	429,301
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,666	△3,013

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント		合計
	Insight (千円)	Data Tech (千円)	(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	11,154,484	3,207,079	14,361,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	11,154,484	3,207,079	14,361,563
セグメント利益又は損失(△)	664,968	△92,433	572,535

(注)セグメント利益又は損失(△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント		合計
	Insight (千円)	Data Tech (千円)	(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	11,640,984	3,561,016	15,202,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	11,640,984	3,561,016	15,202,000
セグメント利益	536,100	142,391	678,491

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間より、経営管理区分の変更に伴い、報告セグメントを従来の「マーケティング支援（消費財・サービス）」、「マーケティング支援（ヘルスケア）」、「ビジネスインテリジェンス」から、「Insight」、「Data Tech」に変更しております。なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	278,366千円	253,610千円
のれん償却額	82,833 〃	61,015 〃